

令和5年度 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業成果報告書

※ 本報告は、交付金計画1件ごとに作成してください。

都道府県等名	福島県	市町村名	白河市
--------	-----	------	-----

1. 交付対象事業の名称

就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業

2. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)実績

	指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績値
KPI④	就職氷河期世代の社会参加者延べ人数	20	30
	個人ごとに趣向が違うため、多様な機関と連携することで、様々な機会を提供することができた。「当日の参加でもよいし急にキャンセルしてもよい、途中から参加しても途中で帰ってもよい」と声掛けすることで、参加希望者の不安を少しでも和らげるよう努めた。		
KPI⑤	就職氷河期世代のひきこもりに関する延べ相談件数 (当事者、家族、支援者等から受ける相談の合計)	432	470
	ひきこもり本人と相談者との信頼関係を築くため、本人だけではなく、その家族とのコミュニケーションを図ることを強化した。自己肯定感が低い方が多いため、ほめることや意見を否定しない面談を心がけた。様々な支援に関連する情報が届きにくく、自分の気持ちや意見を口に出すことに対し、不安を感じている様子が多く見られたため、本人が好きな音楽をかけたたり本音を言っても否定されないコミュニケーションを心がけたりすることで、次回の面談につながるよう努めた。本人の希望に沿った情報を提供した。		
KPI⑥	指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績値
KPI⑦	指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績値
KPI⑧	指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績値

3. 本事業による就業者数及び社会参加者数

就業者数	2	うち 就業者数	2	うち正規 うち非正規	2	社会参加者数 (就学、就労準備 訓練等)	30
		うち、その他就業(自営、起業、内職等)					

就業者数 (年齢階層別)	～40歳		41歳～45歳		46歳～50歳		51歳～	
	就職(正規)		就職(正規)		就職(正規)		就職(正規)	
	就職(非正規)	1	就職(非正規)	1	就職(非正規)		就職(非正規)	
その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)		

4. 事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後(令和7年度以降)の展望

<p>○事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 チラシ全戸配布 ・5月、7月、9月、11月、1月、3月 出張相談会 ・6月 パソコン教室(参加者:3名) ・2月 東北福祉大学准教授、森明人氏による講義(関係機関12名参加) ・毎月2回 オンライン居場所(参加者16名) ・毎月 就職氷河期世代等の居場所(参加者9名) ・随時 就職氷河期世代相談470件(生活相談301件、受診14件、就労25件、居場所84件、社会参加30件(※)、オンライン居場所9件、その他7件) <p>※社会参加(パン無料配布ボランティア13件、農作業体験及びボランティア参加4件、パソコン教室参加3件、草むしりボランティア参加3件、芋掘り体験参加2件、ゴミ拾いボランティア参加2件、就労体験参加及び職場見学2件、男性料理教室参加1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談件数6件 <p>上記について、予定どおり実施できた。准教授の指摘に基づきアセスメントシートを作成し、関係機関との連携の基盤となる定例会を継続して開催することとする。</p> <p>○上記を踏まえ事業内容の改善と充実を図る。令和6年度各事業を引き続き実施するとともに支援する側の定例会の組織充実を図る。そのため、アセスメントシートを共有し事例検討を行い、考え方・視点を共有し、つながり続けるための支援体制を充実させ就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業を実施する。今後、准教授に再度検討依頼を行う。</p> <p>○令和5年度にひきこもり支援事業が障がい福祉係から自立相談支援機関を担当する社会生活支援係に移行され連携が容易になったことから、第2ステージ終了後(令和7年度以降)は、令和6年度から新たに就労準備支援事業を実施する自立相談支援機関と連携を密にし、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用しながら就職氷河期世代のひきこもり支援を実施する。</p>
--

当成果につきましては、令和6年5月29日に行われました白河市ひきこもり支援機関定例会にて報告し、検証を行いました。また、有識者(東北福祉大学森准教授)にも検証を依頼済みです。